



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2600 2023-10-20

創立 1969. 5. 30
幹事 山本智重

会長 濱田由弘
会報委員長 恒元直之



世界に希望を生み出そう

2023-2024 年度 RI 会長 ゴードン R. マッキナリー

RI 2660 地区
大阪城南ロータリークラブ
事務局 〒542-0012 大阪市
中央区谷町9丁目1番22号
NK 谷町ビル 407号
TEL(06)6796-9898
FAX(06)6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪
上本町 6-1-55
TEL(06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

10月20日(金) (第3例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

●卓話「2024年医療・介護報酬改定に伴って」

全国介護事業者連盟 副理事長 永井正史氏

(永井正美会員担当)

●食膳<中国 円卓料理>

次週のお知らせ

10月27日(金) (第4例会)

シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間

●例会時間・場所変更(夜間例会) 18:30~

●吹田ロータリークラブとの合同例会

●ウクライナ支援講演会 16:00~18:00 シェラトン都ホテル大阪 4階 浪速の間

●食膳<フランス 肉料理>

次々週のお知らせ

11月3日(金) (第1例会)

休会

先週の記録

10月13日 (第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

出席報告

出席会員 32名(内免除会員 10名)

会員総数 43名(同上 14名)

ゲスト 1名

ビジター 0名

計 33名

ホームクラブ出席率 82.05%

9月26日(第5例会)補正出席率 92.10% (MU6名)

ゲスト&ビジター(敬称略)

チャン ティ トウ タオ(米山奨学生)

会長の時間



皆様こんにちは、本日はロータリー賞についてお話しします。ロータリー賞は26項目あります。そのうち13項目を達成すれば表彰されます。26項目は、①会員増強、②奉仕活動への参加、③新会員の推奨、④ロータリー行動グループへの参加、⑤リーダーシップ育成への参加、⑥地区大会への出席、⑦ロータリー親睦活動グループへの参加、⑧地区研修への参加、⑨年次基金への寄付、⑩ポリオプラス基金への寄付、⑪大口寄付、⑫遺贈友の会会員、⑬ベネファクター、⑭奉仕プロジェクト、⑮ロータリーアクトクラブ、⑯インターアクトクラブ、⑰来訪する青少年交換学生、

<4つのテスト>言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

⑱派遣する青少年交換学生、⑲RYLA 参加者、⑳クラブ戦略計画、㉑インターネット上の存在感、㉒親睦のための活動、㉓ウェブサイトとソーシャルメディアの更新、㉔クラブのプロジェクトのメディア掲載、㉕ロータリー作成の公式推進用資料の使用、㉖会員と参加促進、以上の内容です。今年度、延原ガバナー様は 2660 地区すべてのクラブにロータリー賞受賞を推進されています。今年度、執行部にて推進しますが、会員の皆様のご協力が必要です。よろしくお願いいたします。

幹事報告



野村篤副幹事

- ①地区より「ポリオ根絶チャリティーゴルフコンペ開催」のご案内がきております。2023年11月20日(月)、有馬カントリー倶楽部にて開催されます。ご参加頂ける方は、山本幹事までお問い合わせください。
- ②10/6の例会の際に募りました、モロッコ地震救援基金につきまして、集まりました金額が少なかつたため、本日の例会時にも再度募金箱を回させていただきます。改めてご支援頂きますようお願い申し上げます。
- ③10/27に開催されますウクライナ支援講演につきまして、当クラブ会員の参加登録費を後期の会費に項目追加し請求させて頂く事とし、10/6の理事会にて承認されました。当クラブ55周年記念事業ですので全員参加でご協力頂きますようお願い申し上げます。

委員会報告

・雑誌・広報委員会 遠田義大委員長

- 1 横組み記事：今月もゴードン I R 会長の心のケアに関する記事が引き続き掲載されています。
- 2 縦組み記事：(1)日本人とお米の話で漬物について。沢庵と沢庵和尚の関係。奈良漬けについて。
(2)鉄道に興味のある方は「餘部鉄橋」について掲載されています。

・酒味の会 小原一真副キャプテン

本日、情報集会和タイアップして酒味の会を開催いたします。出席回答いただいている方はお忘れなく、情報集会和含めて18時からです。よろしくお願いいたします。

卓 話



「ベトナムの50年と今」

米山奨学生 チャン ティ トウ タオさん

今回の卓話では、岡部泰鑑さんから「ベトナムの50年前と今」というテーマが与えられ、私自身も新しい知識や洞察を得ることができた。

50年前つまり1973年の時点で、ベトナムは北ベトナムと南ベトナムに分断されていた。その後、1975年4月30日には南ベトナム解放戦線のホー・チ・ミン作戦により、首都サイゴンが陥落し、南ベトナム政府は崩壊した。これでベトナム戦争はついに終結し、ベトナムの独立と南北統一が達成されたのである。この日はベトナム人にとって非常に重要な日で、感謝と祝福の気持ちで迎えられ、ベトナム国旗を家の前に掲げることが一般的である。そのため、この日は楽しみで幸せな瞬間に満ちた意義深い日となっている。

しかし、一方で、私は最近約50年間にわたり、悲しみや困難と向き合いながら生活してきた人々も

いることを認識するようになった。それが、ボートピープルとして知られる人々である。ベトナム戦争の終結後、ベトナムが社会主義体制に移行する中で、逃れるために小さな漁船に命をかけて海に乗り出した人々を指す。日本は彼らを初めて「難民」として受け入れた。関東地域では神奈川県大和市、関西地域では兵庫県姫路市に受け入れ施設が設けられた。

実は、私は生まれてからあまりこのことを学んでこなかった。初めてこのことに触れたのは、以前、八尾にあるベトナム料理のお店で食事をした時だった。そのお店の店長のおじいさんが、自身の経験を私たちに語ってくれたのですが、正直最初は聞きづらい話だったし、私自身も驚いた。しかし、歴史の一部であることから、帰宅後に調査し、いろいろな資料にたどり着いた。

このように、ベトナム統一記念日には50年間もの間、喜びと同時に痛みを抱えて生きる人々がいることを強く感じた。また、日本がボートピープルとしての難民を受け入れたことにより、この二つの国の繋がりにも再度気づかされた。

また、南北ベトナムの統一後、ベトナムは社会主義国家として歩み始めた。しかし、長年の戦争によって生産基盤は破壊されており、人々は配給される物資に長い行列を作ることを余儀なくされた。経済の成長がなかなか進まないまま、長い年月が過ぎた。こうした事例を通じて、社会主義と資本主義の違いが明確に浮かび上がる。社会主義では個人や企業の間での自由な競争が制限されるため、経済発展が難しい面もあると思われる。

次に、米山奨学生になる前の私と今について少しご紹介する。2018年に初めて日本に来た。2年間日本語学校に通い、その後2020年4月から大学生活が始まった。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の影響で2年間も学校に行けず、オンライン授業が続いた。このまま大学生活がどうなるのか不安だったが、米山奨学生のおかげで、2022年4月から皆さんとお会いできることができた。米山奨学生として初めてRACの皆さんと一緒に過ごし、献血活動、ボウリング大会、清掃活動、そして最近では野球など、本当に楽しい時間を過ごしている。また、米山学友会の皆さんもとてもやさしく、親切で、一緒におしゃべりしたり、踊ったり、テニスを楽しんだり、楽しいひとときを共有させていただいた。これについては本当に言葉では表現しきれないほど嬉しいことである。

城南ロータリークラブの皆さん、奨学金をいただき、そしてこのような結びつきができ、この縁は私にとって一生忘れることのないものであると感じている。

ニコニコ箱

10月13日(第2例会)

- ・泉会員 タオさん、本日の卓話よろしくお願いたします。
- ・野村会員 皆様、先日はありがとうございました。村上さんのゴルフプレーにシビれました。
- ・野村会員 西谷さん、ごちそうさまでした。
- ・細川会員 カツカレーのカツがヒレカツで美味しかったです。
- ・恒元会員 野村会員、先日のエンジョイゴルフのご設営いただきありがとうございました。ゴルフも野球も課題だらけです。

本日のニコニコ合計：9,000円

本年度ニコニコ累計(2023年10月13日現在)：786,220円

10月のロータリーレート

1ドル=149円

(編集担当 松田・泉)

10月は 地域社会の経済発展月間／米山月間